

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

I 自己評価

1 学校教育目標	建学の精神「堅実真摯」 生徒一人ひとりの知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指し、豊かな人間性と健全な心身を育み、自らの可能性を追求し地域社会に貢献できる生徒を育成する。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身に付け、よりよく課題を解決する思考力・判断力・行動力をもち、自立して主体的に行動することができる生徒</li> <li>・豊かな情操と規範意識をもち、自己効力感が高く、他者を思いやり地域や社会に積極的に貢献しようとする心に富んだ生徒</li> <li>・健康維持や体力づくりに努め、自他の生命を尊重し、たくましく生きる力を身に付けた生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進と、ICT等を活用したコミュニケーション能力と発信力の育成</li> <li>・生徒一人ひとりの個性や長所を伸ばすためのカリキュラムの編成と、個に応じた細やかな指導による自己効力感の伸長</li> <li>・勉強と部活を両立させ、心身ともに健康で人を思いやる豊かな人間性の涵養</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学進学を目指し、多様な学びに主体的に取り組み、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒</li> <li>・向上心をもち、部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他者と協働してよりよい学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒</li> </ul>

3 評価する領域・分野	◇学習指導		
4 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ全員が進学を希望しており、価値観は一元化している。</li> <li>・生徒は素直で真面目で、落ち着いた雰囲気の中で学習をしており、学校の取り組みに対して好意的である。</li> <li>・主体的に考えたり、積極的に行動したりすることを苦手とする生徒が多い。</li> <li>・家庭学習時間を確保できない生徒が少なからずいる。</li> </ul>		
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇社会状況の変化や生徒の実態の変化に対応した授業方法（ICTを活用した授業、習熟度別授業）の在り方について研究を深め、生徒が主体的に考えたり積極的に行動したりする場面を取り入れた授業を全職員が意識して展開できるようにする。		
6 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務学習係・教科主任を核とし、年間を通じて公開授業・研究授業を計画実施していく。</li> <li>・ICT活用推進リーダー、校内研修推進リーダーを中心にICT活用の有効性を職員に伝えていく。</li> </ul>		
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 授業改善の必要性を全職員に浸透 (2) ICT環境の充実とICTの有効活用の全職員への浸透	(1) 生徒の主体性の向上 (2) 授業に対する満足度および学力の向上		
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回の研究授業・研究会と年2回の公開授業週間の実施</li> <li>・年2回の生徒による授業アンケートの実施</li> <li>・推進リーダーによるICT活用研修会の実施</li> <li>・全校集会、学年集会、ふるさと探究学習、高校見学会でのWeb会議システムの活用</li> <li>・授業での一人一台タブレットの活用推進</li> </ul>	① 職員の取り組み状況  ② 生徒の主体性の向上  ③ 学力の向上および授業に対する満足度	A (B) C D  A (B) C D  (A) B C D	

12 成 果 ・ 課 題	<p>○職員間に「基礎学力の定着を図る授業」「ICT（一人一台タブレット）を有効活用した授業」の意識が定着しつつあり、生徒が主体的に取り組む授業の実践が増加している。</p> <p>▲授業改善、一人一台タブレット活用など、生徒の主体性を向上させるための土台は構築されつつあるが、生徒の受動的な学習態度は改善しきれていない。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A (B) C D</p>
-----------------------------	---	---------------------------------

13 来年度に向けての改善方策案

- ・研究授業、公開授業週間における授業参観はもとより、普段から授業を参観できる雰囲気職員全体に広め、参観を通して生徒が主体的・積極的に活動する場面を認識し授業改善に生かすようにする。
- ・一人一台タブレットを活用した授業をさらに推進していくために、推進リーダーを中心に、学習活動の中でデジタル教材やアプリケーションが手軽に多くの先生に使用してもらえるように、研修会を実施していく。

**II 学校関係者評価** 実施年月日：令和5年1月30日

- 【意見・要望・評価等】**
- ・意見1：受験勉強一色とならないよう興味を持てる授業を目指してほしい。
  - ・意見2：ICTが負担にならないよう有効性を検証しながら取り組みをお願いしたい。
  - ・意見3：生徒へのアンケートもなるべく紙面でなくタブレットを利用してほしい。
  - ・意見4：一人ひとりに対して上質な教育を今後さらにお願ひしたい。
  - ・意見5：研究授業の成果が、他の授業にも活かされることを期待する。
  - ・意見6：タブレットを利用して双方向の授業を期待する。

令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣南高等学校 学校番号 22

I 自己評価

1 学校教育目標	建学の精神「堅実真摯」 生徒一人ひとりの知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指し、豊かな人間性と健全な心身を育み、自らの可能性を追求し地域社会に貢献できる生徒を育成する。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー（GP） <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を身に付け、よりよく課題を解決する思考力・判断力・行動力をもち、自立して主体的に行動することができる生徒</li> <li>・豊かな情操と規範意識をもち、自己効力感が高く、他者を思いやり地域や社会に積極的に貢献しようとする心に富んだ生徒</li> <li>・健康維持や体力づくりに努め、自他の生命を尊重し、たくましく生きる力を身に付けた生徒</li> </ul>	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP） <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進と、ICT等を活用したコミュニケーション能力と発信力の育成</li> <li>・生徒一人ひとりの個性や長所を伸ばすためのカリキュラムの編成と、個に応じた細やかな指導による自己効力感の伸長</li> <li>・勉強と部活を両立させ、心身ともに健康で人を思いやる豊かな人間性の涵養</li> </ul>	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP） <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学進学を目指し、多様な学びに主体的に取り組み、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒</li> <li>・向上心をもち、部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他者と協働してよりよい学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒</li> </ul>

3 評価する領域・分野	◇生徒指導		
4 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせる。90.2%→90.8%</li> <li>・学校は個々の相談に丁寧に応じている。85.3→85.4%</li> <li>・いじめや差別に対する厳しい対応。85.0→83.6%</li> </ul>		
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇自転車・歩行者の交通安全や危機管理意識の向上。 ◇社会の一員としてのマナー遵守への意識向上。 ◇教育相談を中心とした、個々の生徒に応じた適切な支援への連携。		
6 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が一致協力して取り組める体制を確立していく。</li> <li>・教育相談と関係外部機関、生徒指導の連携を図る。</li> </ul>		
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 様々な交通安全啓発活動を通して生徒自身の交通マナーに対する意識の向上。 (2) 身なり・マナー指導の継続実施。 (3) 放送等によるタイムリーな指導の実施。 (4) 十分な生徒理解による適切な支援の実施。	(1) 交通安全啓発活動が計画どおり実施できた。 (2) 身なり、マナー指導を計画どおり推進できた。 (3) 迅速な対応による、早期対応ができた。 (4) アンケート調査結果より細かな指導ができた。		
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全指導（月2回の交差点指導、校門指導）（適宜行う交通案指導）</li> <li>・身なり・マナー指導（薬物乱用防止講話）（定期的に身なり指導を行った）</li> <li>・生徒理解・人権教育（全校一斉SNSに関する教育）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故防止の取り組みができたか。</li> <li>・身だしなみやマナーが向上したか。</li> <li>・生徒理解を深め、人権意識を高めることができたか。</li> </ul>	A (B) C D A (B) C D (A) B C D	
12 成果 ○教員間の生徒情報の共有ができ、素早い適切な対応ができた。 ○全体的に落ち着いて学校生活を送ることができた。 ○全体的に交通安全に関する意識が高まり、交通ルール違反者は減少したように思う。来年度も交通安全防止を呼び掛けていきたい。 課題 ▲交通事故の発生件数は増加した。出会い頭や自転車同士の接触が多かった。 ▲校内でスマホを使用し、指導される生徒が増加した。	総合評価 A (B) C D		

▲身だしなみは落ち着いてきたが、悩みを抱える生徒が増加した。	
--------------------------------	--

13 来年度に向けての改善方策案 ・スマホの依存使用や登下校中の「ながらスマホ」をなくす。 ・引き続き来年度も校則の見直しを検討していきたい。 ・教育相談に関わる研修会を継続して実施していきたい。 ・身なり指導の実施回数を減らす。
---

**II 学校関係者評価** 実施年月日：令和5年1月30日

<b>【意見・要望・評価等】</b> ・意見1：地域との連携を意識してほしい。 ・意見2：生徒の主体的な行動力を育成するために、生徒たちだけの話し合いの機会を持ってほしい。 ・意見3：生徒会活動の面での話し合いや取り組みをさらに望みたい。 ・意見4：地域の声を大事に生徒の指導に活かしてほしい。 ・意見5：生徒についての情報共有を常に行ってほしい。
---

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣南高等学校 学校番号 22

## I 自己評価

1 学校教育目標	建学の精神「堅実真摯」 生徒一人ひとりの知・徳・体の調和のとれた人格形成を目指し、豊かな人間性と健全な心身を育み、自らの可能性を追求し地域社会に貢献できる生徒を育成する。		
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>確かな学力を身に付け、よりよく課題を解決する思考力・判断力・行動力をもち、自立して主体的に行動することができる生徒</li> <li>豊かな情操と規範意識をもち、自己効力感が高く、他者を思いやり地域や社会に積極的に貢献しようとする心に富んだ生徒</li> <li>健康維持や体力づくりに努め、自他の生命を尊重し、たくましく生きる力を身に付けた生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題発見力・課題解決力を育成するための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進と、ICT等を活用したコミュニケーション能力と発信力の育成</li> <li>生徒一人ひとりの個性や長所を伸ばすためのカリキュラムの編成と、個に応じた細やかな指導による自己効力感の伸長</li> <li>勉強と部活を両立させ、心身ともに健康で人を思いやる豊かな人間性の涵養</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学進学を目指し、多様な学びに主体的に取り組み、自らの可能性に挑戦したいという意欲のある生徒</li> <li>向上心をもち、部活動や生徒会活動に積極的に参加し、他者と協働してよりよい学校や社会を築いていこうという意欲のある生徒</li> </ul>

3 評価する領域・分野	◇進路指導	
4 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒及び保護者の評価の両方で、前年度に比べて「進路情報の提供」に関する項目において、低学年次での大幅な減退が見られた。現1年次生は、新課程入試となるため、その不安が表れたものと考え。低学年への指導の充実を図り、丁寧に情報提供を行っていきたい。</li> <li>3年次生においては、「情報提供」と「進路指導」の両方の項目で、生徒も保護者も満足度が高かった。今後も生徒の志望に応じて丁寧に対応していきたい。</li> </ul>	
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇3年間を見通した進路指導計画に基づき、各学年の到達目標達成のために、学年会との連携を強め、組織的な進路指導体制を確立する。また、大学入試改革等への対応を意識した計画、体制を研究する。</li> <li>◇受験指導体制をより充実させるために、職員の進路指導研究や大学研究、入試問題研究等の自己啓発活動の充実を図る。</li> <li>◇生徒が、自己の生き方を長期的な視野で主体的に考えることができるよう、「総合的な探究の時間」等を通してキャリア教育を推進する。</li> </ul>	
6 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自身の希望に基づき、適切な進路目標の設定と実現に向けての取り組みを支援できるよう、学年団との連携を強化する。</li> <li>外部講師にも協力いただき、生徒や保護者に適切な進路情報を提供し、進路意識高揚につながるような進路行事を企画する。</li> <li>豊かな進路知識と指導力向上に繋がる教員対象研修会の充実を図る。</li> </ul>	
7 目標の達成に必要な具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 進路指導計画に沿った進路講話や保護者進路研修会等を充実させる。</li> <li>(2) 各学年や各教科と協力し、学力分析や学力伸長に向けた取り組みを充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 進路講話後の生徒の様子や保護者進路研修会後のアンケート結果</li> <li>(2) 外部模試の結果分析と情報共有、進路情報の提供、各学年、各教科の取組状況</li> </ul>	
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者進路研修会を3年は5月と8月に、2年は6月と11月、1年は9月に実施。</li> <li>3年生に向けて、河合塾講師による英語講座や</li> </ul>	① 保護者に対して時機にあった進路情報の提供ができた (アンケート結果)	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>

<p>本校国語科教員による小論文特別講座を実施。 ・外部模試実施後に結果分析を行い、職員会議で情報を共有し、各教科で学力伸長に努めた。</p>	<p>②講座受講後の生徒の反応 ③外部模試結果による学力伸長の度合い</p>	<p>A (B) C D</p>
<p>12 成 果 ・ 課 題</p>	<p>○保護者進路研修会では、各学年に合った進路情報を提供することができた。特に1年生では、新課程入試に関する最新情報を提供することができ、参加された保護者には概ね好評であった。 ・○外部講師による特別講座は、生徒のやる気を引き出し、その後の取り組みに反映させることができた。個別の大学説明会では、講演終了後に教授に質問に行く生徒の姿が多数見られた。</p>	<p>総 合 評 価  A (B) C D</p>
<p>13 来年度に向けての改善方策案 ・引き続き保護者進路研修会の内容の充実を図る。 ・各大学の総合型選抜・学校推薦型選抜の募集人数が増加している。これに対応するため、教員への研修会参加や情報提供の充実を図り、足並みを揃えて指導できるよう体制の強化を図る。 ・外部講師による講座は、生徒の意欲喚起に繋がるため、次年度も継続して実施していく。</p>		

## II 学校関係者評価

実施年月日：実施年月日：令和5年1月30日

<p><b>【意見・要望・評価等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見1：受験勉強だけが進路指導ではないと考えるので、生徒の興味と進学先の特色をよく調べ指導してほしい。</li> <li>・意見2：大学合格数だけでなく、キャリア教育に力を注いでいただくようお願いします。そのためにも外部の力を利用してほしい。</li> <li>・意見3：高校生が地域で活躍する機会・場を意図的に作り、彼らに働き掛けをお願いしたい。</li> <li>・意見4：自分の将来の仕事や職業を展望しながら自分の進路を選ぶ力を付けてほしい。</li> <li>・意見5：目標に向かって自分を磨く学びを作してほしい。</li> </ul>
--